



環境プラス!
TakasaGo!



高砂熱学工業株式会社

第139期 中間報告書

2018年4月1日から2018年9月30日まで | 証券コード：1969

Contents

トップメッセージ	1
TOPICS	5
連結財務諸表	7
株主還元について	8
会社情報	9
株式情報	10

ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第139期第2四半期累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間は、国内景気は緩やかな回復基調が継続し、期初計画値通りの水準を達成することができました。これも、ひとえに株主の皆様のご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の発展にご期待いただき、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長 社長執行役員 **大内 厚**



Q 当第2四半期までの市場環境についてお聞かせください。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内の各種政策効果を背景に、企業収益や雇用・所得環境は改善し、設備投資は引き続き増加の傾向が見られるなど、国内景気は緩やかな回復基調が継続しました。

建設業界および当社関連の空調業界におきましては、都市部再開発案件の進展や生産施設等への投資が活性化するなど、建設需要は堅調に推移しました。

Q 当第2四半期の業績についてお聞かせください。

当社は、3か年中期経営計画の2年目を迎え、「成長に向けた変革の断行」を実現するため、グルー

業績のポイント

- ① 受注高・売上高ともに、連結決算開示以降の最高額を計上
- ② 売上総利益・四半期純利益は、創業以来の最高額に迫る水準
- ③ 売上総利益率は、バブル期並みの高水準を維持

良好な事業環境は継続 収益性も高水準を維持

プの総力を挙げて取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

なお、本中間報告書に記載の金額および株式数は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

社是

人の和と創意で社会に貢献

経営理念

- 1. 最高の品質創りを重点に社業の発展を図り社会に奉仕する
- 2. 全員の創意を発揮し顧客のニーズに対応した特色ある技術を開発する
- 3. 人材育成と人間尊重を基本として人の和と品性を高揚する

連結財務ハイライト



受注高

当第2四半期連結累計期間の受注高は、前年同四半期連結累計期間（以下「前年同四半期」といいます。）を8.8%上回る1,567億円となりました。

一般設備は前年同四半期を5.6%下回る871億円、産業設備は前年同四半期を37.9%上回る662億円となった結果、設備工事業は前年同四半期を9.3%上回る1,533億円となりました。設備機器の製造・販売事業等は、前年同四半期を10.5%下回る34億円となりました。

その構成比は、一般設備が55.6%、産業設備が42.2%、設備機器の製造・販売事業等が2.2%であり、海外工事が全体に占める割合は12.9%であります。

売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期を6.1%上回る1,376億円となりました。

一般設備は前年同四半期を1.5%上回る818億円、産業設備は前年同四半期を14.1%上回る525億円となった結果、設備工事業は前年同四半期を6.1%上回る1,343億円となりました。設備機器の製造・販売事業等は、前年同四半期を6.4%上回る33億円となりました。

その構成比は、一般設備が59.4%、産業設備が38.2%、設備機器の製造・販売事業等が2.4%であり、海外工事が全体に占める割合は14.4%であります。

利益

当第2四半期連結累計期間の利益は、良好な事業環境を背景とした収益拡大への取り組みが成果を

げる一方、労務費等の工事原価が増加したことなどにより、営業利益は前年同四半期を14.3%下回る58億円、経常利益は前年同四半期を12.3%下回る64億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期を11.0%下回る40億円となりました。

繰越高

当第2四半期連結会計期間末の繰越高は、前年同四半期連結会計期間末を1.4%上回る2,493億円となりました。

Q 通期の見通しについてお聞かせください。

通期業績につきましては、本年5月11日付決算短信において発表した予想数値を継続しております。売上高の増加により、売上総利益の増加を見込む一

方、成長に向けた積極投資を実施することから、営業利益以降の各利益は、前年度と同水準を見込んでおります。また、受注高については繰越工事高等の消化体制等を勘案し、選別受注を実施して良質の工事確保に努めてまいります。

下期においても、労務の事前計画・平準化の徹底により、売上総利益の積上げを図り、ご期待に沿える様、取り組んでまいります。

2019年3月期業績予想(通期)

売上高	3,000億円
営業利益	165億円
経常利益	175億円
親会社株主に帰属する当期純利益	118億円
受注高	2,800億円
繰越高	2,102億円

営業利益 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



繰越高 (単位：百万円)



総資産・純資産 (単位：百万円)



(ご参考)

経営指標の推移 (単位：%)



(注) 2017年度末以前の数値は「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等適用前の数値となっております。

ヤマト科学株式会社との業務提携

9月28日、当社は科学機器、研究施設総合メーカーのヤマト科学株式会社(本社所在地：東京都中央区日本橋室町、代表者：森川智代表取締役社長)との間で、業務提携を締結し、調印いたしました。

業務提携の実施対象は、研究施設およびバイオ関連施設に加え、産業系顧客をはじめとした幅広い顧客に対しての提案、販売、保守サービス、研究開発に及びます。両社の企業価値の向上を実現するべく、今後5年間、下記事項を実施してまいります。



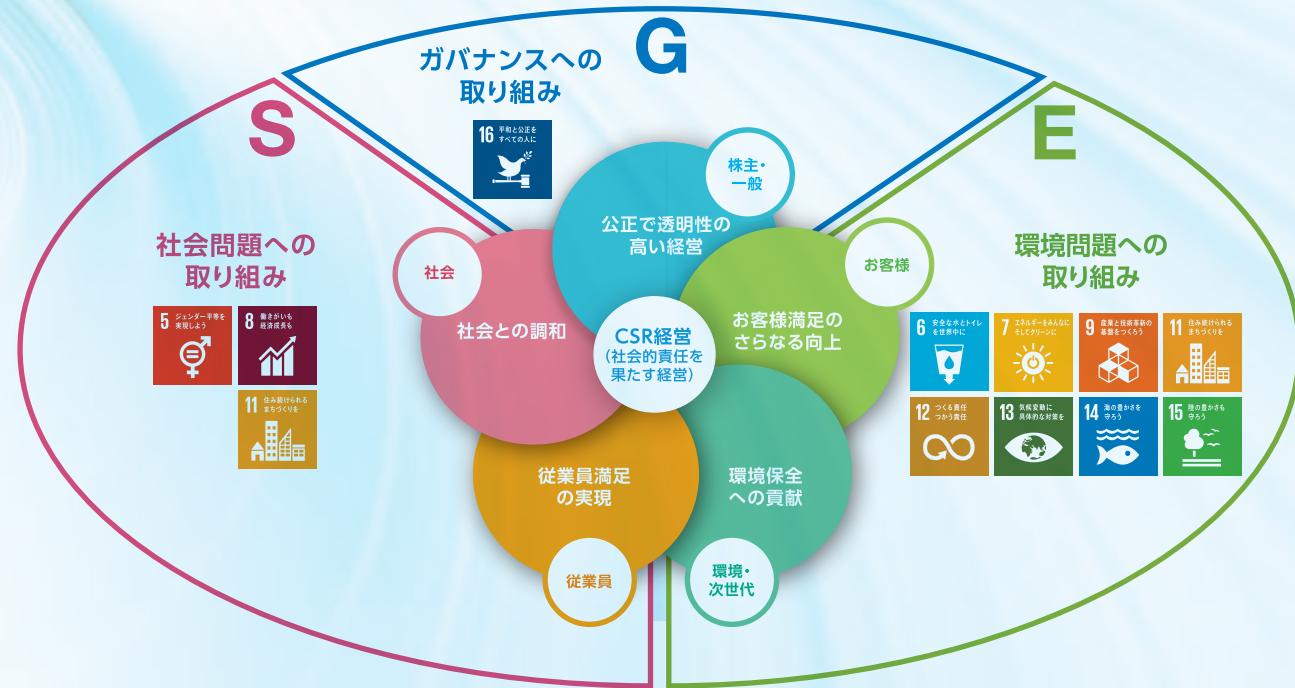
- 1 両社の保有技術と顧客ニーズ情報を活用した、高機能、高信頼性、省CO₂等を目的とした革新的な商品とサービス創造のための共同開発の実施
- 2 両社の経営資源(保有技術、顧客ニーズ情報、営業基盤)の活用による、幅広い顧客向けソリューション機能(提案・販売・保守サービス)の強化と「給排気総合管理システム」、「二酸化塩素除染サービス」等の展開

2019年3月期第2四半期の主な出来事



サステナブル社会実現への貢献

当社グループは、「地球環境に貢献する環境ソリューションプロフェッショナル」として、脱炭素・サステナブル社会の実現に寄与する技術・商品の創出と普及展開を行っています。当社の活動がSDGsに寄与できるよう点検しつつ、2030年のゴールを社会とともに目指してまいります。

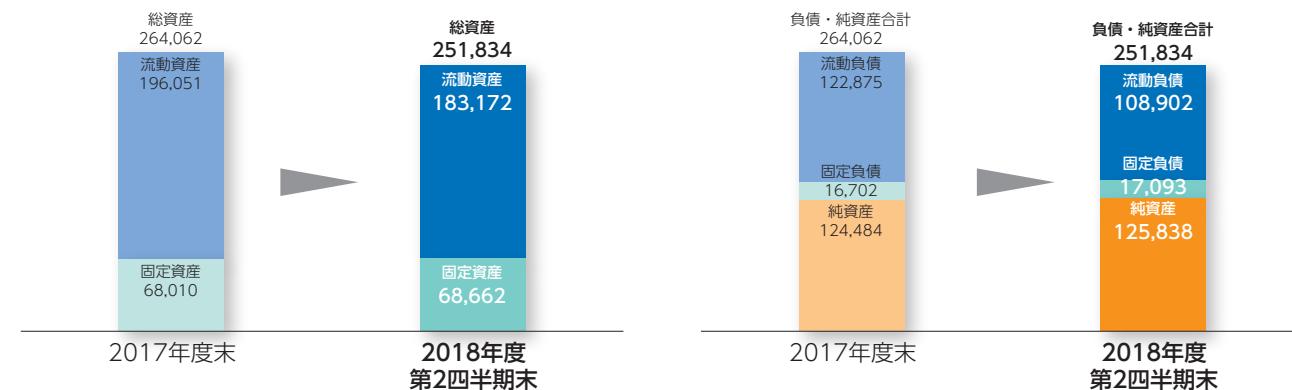


国連グローバル・コンパクトへの参加

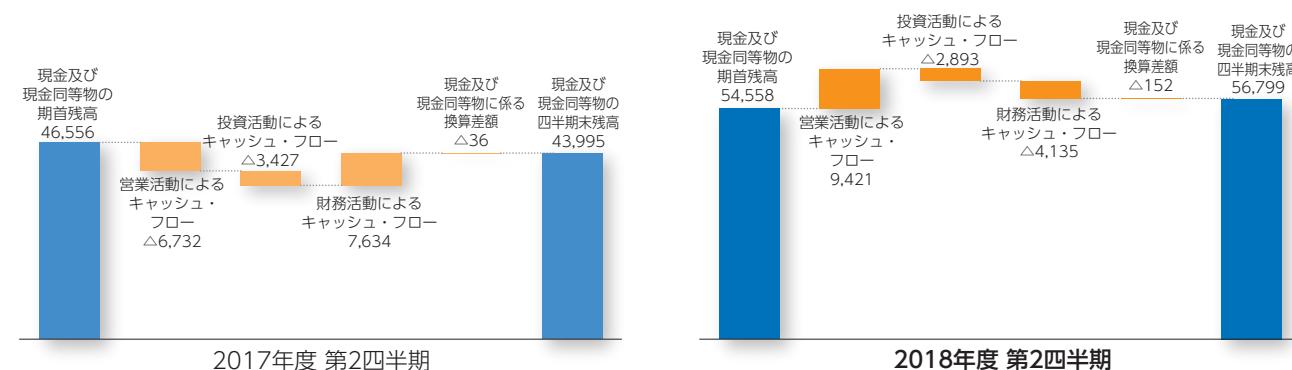
国際連合が提唱する持続可能な成長を実現するための国連と企業の協力の枠組み「国連グローバル・コンパクト」に署名し、6月29日付で加入いたしました。社会の持続的な発展に貢献するとともに、高砂グループが目指す未来像「環境エンジニアリングにより脱炭素社会に向けて世界に貢献」をより一層推進してまいります。



資産、負債および純資産の状況 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)



- POINT 1** 総資産は、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて12,227百万円減少し、251,834百万円となりました。
- POINT 2** 負債合計は、支払手形・工事未払金等が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて13,581百万円減少し、125,996百万円となりました。
- POINT 3** 純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて1,354百万円増加し、125,838百万円となりました。

- POINT 4** 営業活動によるキャッシュ・フローは、9,421百万円の収入(前年同四半期は6,732百万円の支出)となりました。これは主に仕入債務の減少などの支出を、売上債権の減少などの収入が上回ったことによるものであります。
- POINT 5** 投資活動によるキャッシュ・フローは、2,893百万円の支出(前年同四半期比+534百万円)となりました。これは主に定期預金の預入による支出によるものであります。
- POINT 6** 財務活動によるキャッシュ・フローは、4,135百万円の支出(前年同四半期は7,634百万円の収入)となりました。これは主に配当金の支払および自己株式の取得による支出によるものであります。

(注)「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等の適用により、2017年度末の数値を一部遡って変更しております。

お知らせ

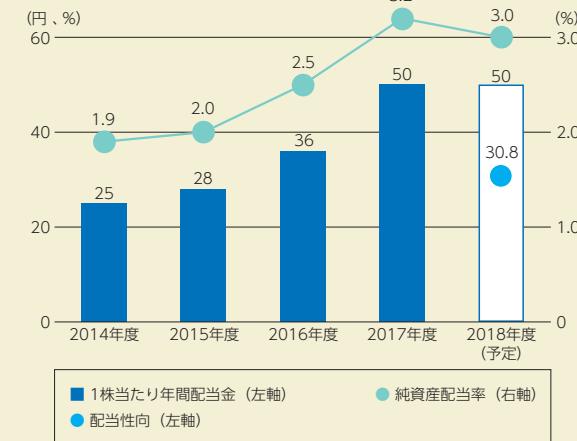
株主還元について

当社グループは、株主への利益還元を経営上の最重要課題一つと位置付けております。これまで、「連結純資産配当率(DOE)2%」をベースに配当を行ってまいりましたが、株主の皆様への積極的な利益還元の姿勢をより明確にするため、2018年5月に配当方針を変更いたしました。

配当 (2018年5月11日 配当方針の変更)

収益性と資本効率性を高めつつ、安定した配当を行うことを基本方針として、連結配当性向30%を配当の基準とし、かつ連結純資産配当率(DOE)2%を下限に配当を実施

配当の推移



配当金総額・自己株式取得額の推移



自己株式取得

大型の資金需要がない場合等は、自己株式取得を含めた総還元性向を意識して、株主還元を推進

2018年11月8日に取得金額30億円(株式数150万株)を上限とする自己株式の取得を取締役会にて決議いたしました。

会社概要

社名
高砂熱学工業株式会社
Takasago Thermal Engineering Co., Ltd.

設立
大正12年(1923年)11月16日

所在地
〒160-0022
東京都新宿区新宿六丁目27番30号

資本金
13,134百万円

従業員数
5,844名(当社 2,063名)

ホームページ
<https://www.tte-net.com>

取締役および監査役

代表取締役会長兼社長執行役員	大内 厚	国内事業統括本部長兼品質・環境・安全担当兼国内関係会社担当兼開発事業推進部担当
代表取締役専務執行役員	高原 長一	営業統括
取締役専務執行役員	松浦 卓也	国際事業統括本部長兼海外関係会社担当
取締役常務執行役員	田淵 潤	コーポレート本部長兼経営企画部長兼経営戦略担当兼コンプライアンス担当
取締役常務執行役員	原 芳幸	事業革新本部長兼事業革新本部イノベーションセンター長兼技術担当兼新規事業開発担当兼環境ソリューション事業推進部担当
取締役常務執行役員	山分 弘史	
取締役	松永 和夫	
取締役	数中 三十二	
取締役	藤村 潔	
監査役	山本 幸利	常勤監査役
監査役	近藤 邦弘	常勤監査役
監査役	伊藤 鉄男	弁護士
監査役	瀬山 雅博	
監査役	藤原 万喜夫	

(注) 1. 取締役の松永和夫氏、数中三十二氏および藤村潔氏は、社外取締役であります。
2. 監査役の伊藤鉄男氏、瀬山雅博氏および藤原万喜夫氏は、社外監査役であります。
3. 上記社外取締役3氏および社外監査役3氏は、東京証券取引所の定める独立役員に指定され、届出がなされております。

主要な拠点



大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本生命保険(株)	4,560	6.17
第一生命保険(株)	4,231	5.72
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	3,833	5.19
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	3,436	4.65
高砂熱学従業員持株会	3,294	4.46
高砂共栄会	2,403	3.25
(株)三菱UFJ銀行	2,346	3.17
(株)みずほ銀行	2,177	2.95
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	1,152	1.56
(株)京王閣	1,016	1.38

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式(8,850千株)を控除して計算しております。
3. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先 [お問い合わせ先]	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載 https://www.tte-net.com ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

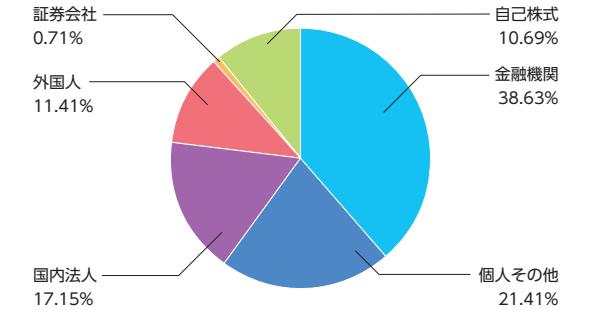
配当金計算書について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告の際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告の際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願い申し上げます。

株式の状況

発行可能株式総数 200,000,000株
発行済株式の総数 73,915,348株
(自己株式 8,850,420株を除く)
株主数 5,549名
(前事業年度末比 263名減)

所有者別株式分布



株式に関するお問い合わせ

- 届出住所等のご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取のご請求

口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

- 特別口座に関するご照会
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- その他株式事務に関する一般的なご照会

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部まで
お問い合わせください。
☎ 0120-232-711
(平日午前9時～午後5時)

INFORMATION

マレーシア森林保全活動



CSR活動の一環として、2018年10月に海外では初となるマレーシアでの植林活動を行いました。

この活動は、マレーシアサラワク大学構内で実施する「熱帯雨林再生プログラム」の一環として5年間の植樹活動を行うもので、当日は現地法人社員を含め総勢130名が参加いたしました。

森林保全の大切さについて理解を深め、この活動の輪がさらに広げられるよう努めてまいります。

ホームページのご紹介

当社は、ホームページを重要な情報発信ツールと認識しており、決算情報のみならず皆様のご理解に資すると判断した情報を、随時掲載しております。ぜひ、ご利用ください。

<https://www.tte-net.com>

IR情報メール配信のご案内



最新のニュースリリースやホームページの更新情報などをお届けいたします。当社IR情報サイトからご登録いただけますので、ぜひご利用ください。

IRカレンダー



	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
決算発表	● 期末決算発表			● 第1四半期決算発表			● 第2四半期決算発表			● 第3四半期決算発表		
株主総会	● 招集通知発送			● 定時株主総会開催								
配当基準日							● 中間配当株主確定			● 期末配当株主確定		
有価証券報告書 四半期報告書	● 有価証券報告書発行			● 第1四半期報告書発行			● 第2四半期報告書発行			● 第3四半期報告書発行		
株主向け報告書	● 株主向け報告書(期末)発送						● 株主向け報告書(中間期)発送					
コーポレートレポート				● コーポレートレポート発行								



高砂熱学工業株式会社
Takasago Thermal Engineering Co., Ltd.

〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目27番30号
電話 03(6369)8212(代表)
<https://www.tte-net.com>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

